

## 第2期岡部中学校区小中一貫教育推進計画

自分大好き 友だち大好き おかべ大好き

～自主心・郷土愛をもち仲間と共に歩む児童・生徒～



令和7年3月

岡部中学校区学校運営協議会

## 目 次

| I   | 計画策定にあたって      | ページ  |
|-----|----------------|------|
| 1   | 本計画の位置づけ       | 1    |
| 2   | これまでの経緯        | 2    |
| 3   | 成果と課題          | 2, 3 |
| II  | 岡部中学校区小中一貫教育方針 |      |
| 1   | 岡部中学校区で育てたい子供像 | 4    |
| 2   | 推進方法           | 5    |
| 3   | 推進形態           | 5    |
| III | 具体的な取組         |      |
| 1   | 取組内容           | 6    |
| IV  | 計画年次           |      |
| 1   | 計画の期間          | 14   |
| V   | 資料             |      |
| 1   | 学校運営協議会委員      | 14   |
| 2   | 用語解説           | 15   |

## I 計画策定にあたって

### 1 本計画の位置づけ

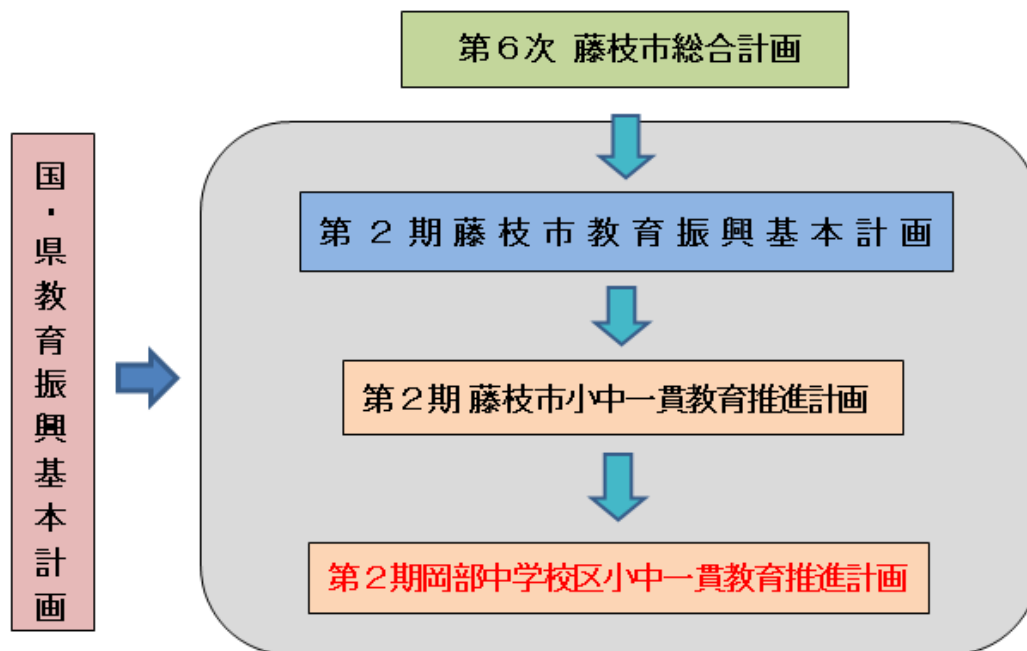
小中一貫教育は、「第6次藤枝市総合計画」における7つの基本目標の内の1つである「子供が健やかに学び、育つ藤枝づくり」の「学校教育の充実」の中の施策として、「小中一貫教育の推進」を位置づけています。

また、「第2期藤枝市教育振興基本計画（教育大綱）」においても「個が輝き、未来を切り拓く力を育む学びの充実」を目標とし、施策のひとつに小中一貫教育の推進を掲げています。

「第2期藤枝市小中一貫教育推進計画」は、今後の本市における小中一貫教育を推進するための基本理念や基本方針及び取組事項を定めており、これを受けて中学校区ごとに小中一貫教育推進計画を策定しています。

本計画は、「中学校区小中一貫教育推進計画」の岡部中学校区版となるもので、前計画における5ヵ年計画での取組・実践を踏まえて、学校運営協議会で協議を重ね策定し、「第2期岡部中学校区小中一貫教育推進計画」として位置づけます。

### 岡部中学校区小中一貫教育推進計画の位置づけ



## 2 これまでの経緯

岡部小学校、朝比奈第一小学校、岡部中学校の岡部地区3校は、藤枝市と合併する以前から、岡部町教育研究会として、3校で授業を見合って研修を重ねるなど、学校間の連携が強い地域でした。

その基盤を生かして藤枝市が推進する小中一貫教育にも速やかに移行し、令和2年度からの第一期においては、岡部中学校区教育連携推進事業\*1、岡部地区健全育成会議、そして何より岡部中学校区学校運営協議会の組織化によって、各学校の特色を生かしながらも9年間で育成したい子供像を共有し、地域と一体となった教育を展開してまいりました。

第2期藤枝市教育振興計画で明示された概念及び3つの目標を共有し「授業で人を育てる」を合言葉に「教科の学び」と「人としての学び」を両立すべく合同研修を継続しています。また、「3にも」（自分にも 相手にも みんなにもよし）が3校共通の合い言葉として広がり、岡部地区3校の子供たちにやさしい笑顔があふれています。

このように安定した教育環境が築かれ、子供たち一人一人が伸びやかに成長し、確かな教育成果があがっている地域ではありますが、ここ数年、児童生徒数が減少し、今後も減少傾向が続くと推測されています。しかし、児童生徒数の多少に関わらず、長い間積み上げてきた本地区の教育が継承発展し、自分たちの郷土岡部を愛し、将来この地域を担う子供たちを育成していくことを根底に据え、本計画を策定いたしました。

## 3 成果と課題

### 【成果】

岡部地区小中一貫教育推進計画進捗管理表アンケートの評価表備考欄に3校共通や各校の具体的な取組が明記されたことで、活動が見える化し、どの立場からも評価しやすくなったことも成果です。

#### ◆社会的資質の向上

##### ○自己肯定感の醸成 対人関係能力の育成

3年間継続しているOAP（オカベアサギマダラプロジェクト）については、地域の方の協力も得ながら、各校、年々工夫や進化が見られ、飛来するチョウも増加し、岡部ならではの活動として定着しつつあります。

#### ◆確かな学力の習得

##### ○読書指導の充実については、『読み聞かせボランティア』の活動や三校連携しての司書による図書館経営、健全育成との連携による「メディアコントロール\*2（読書の日）」の継続により、着実に成果が出ています。

##### ○総合的な学習の時間や教科等での地域資源の活用が進んだ。児童生徒が総合的な学習などで学んだことが派生し、地域や保存会のイベント（朝比奈ちまきづくりやミニ龍勢づくりなど）に参加して学びを深めたり、交流を楽しむ姿が見られるなど、目指す「郷土愛」に向けての実践が浸透してきています。

#### ◆豊かな人間性の育成

- 3校でメディアコントロールの日をそろえたり、[進んであいさつ][進んで行動]を共有したりしているなど、連続性のある生徒指導に取り組んでいます。
- 岡部地区両小学校では、各学年交流活動を設けたり社会科見学に一緒に行くなどの連携が、また中学校の総合的な学習発表会に小学生が参加したり、中学生の合唱を聴いたり、縦横の交流が進んでいます。

#### ◆地域を担う人材の育成

- 岡部中学校の生徒が美術の授業で取り組んだ『岡部の良さを伝えるシンボルマーク』のデザインが『道の駅のスタンプ』に採用されるばかりでなく、岡部支所への展示、岡部宿にぎわい祭りやふるさと朝比奈いきいき祭りへの展示と地域に広がる活動となりました。また、中学生が防災訓練において役割を担ったり、施設や保育園へ出向いて貢献活動をしたりするなど、地域との交流の場が拡大してきています。

#### ◆教員の指導力向上

- 3校主任（研修、養護教諭、図書館担当）合同主任会、合同学年部会を行うとともに、中学校から一部教科についての乗り入れ授業を行っています。こうして各校の実態を把握するとともに、育成する子供像を共有しています。
- 3校合同研修会で「授業で人を育てる」のための理念を学んだり、特別支援教育についての知識を得たりする中で、子供観や授業観を3校で揃えています。昨今では中学校においても小学校段階での授業を継続したような対話的な授業も増えてきています。

#### ◆地域との連携

- 合同引き渡し訓練を3校だけでなく地区の保幼園とも連携し、保幼小中連携につながる一歩となりました。
- 地域が子供の成長に対して協力して取り組んでいます。
  - ・にぎわいまつり　・ちまき作り　・龍勢作り　・アサギマダラ・・・など

### 【課題】

#### ◆豊かな人間性の育成

- メディアコントロールのできる児童生徒の育成や基本的な生活習慣の定着について、健全育成会議と連携し「早寝早起き朝ご飯」「進んであいさつ」「メディアコントロール」などについて、継続した家庭への啓発の工夫が必要です。特に「あいさつ」については、3校とも課題としているところで、今後中学生の小学校へのあいさつボランティアの実施など、連携した取組を工夫していきたい。

#### ◆地域を担う人材の育成

- 第1期において、地域に出向く機会も増え、地域の方から協力を得たり、地域のものやことからの受信をしたりする機会が増えました。  
今後は「受信」から「発信」へ、「参加」から「参画」へ発展させていきたい。

## Ⅱ 岡部中学校区小中一貫教育方針

### 1 岡部中学校区で育てたい子供像

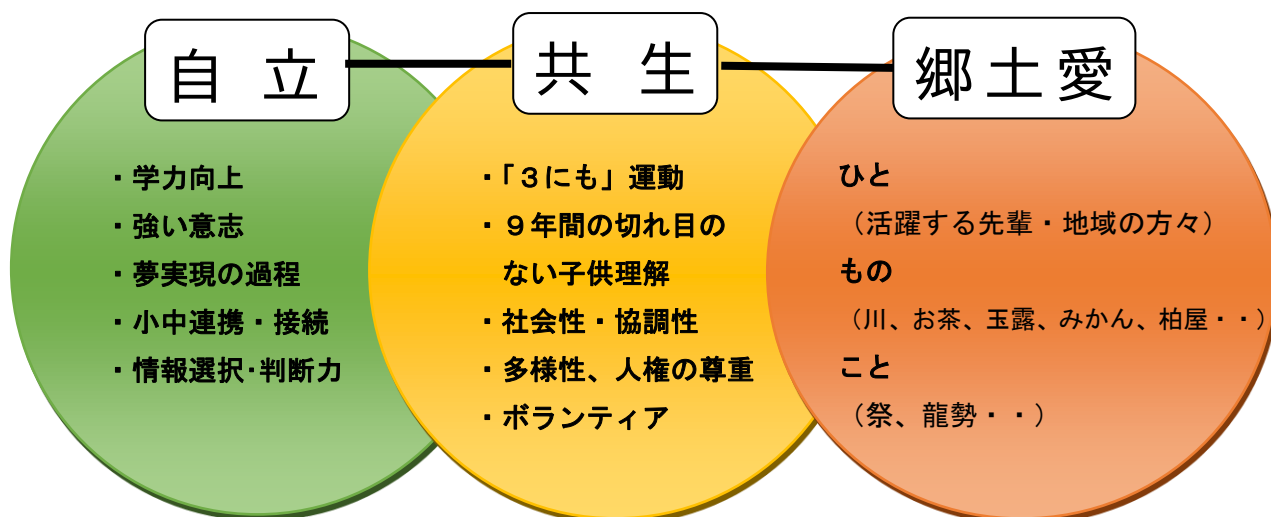
本地区では、本市が目指す「豊かな学びで 笑顔をつなぐ」のために、地区の子供たちの実態に即しながら、地域の願いを込めたキャッチフレーズと、小・中学校の教職員が相互に連携・協力しながら、小・中学校が一貫して育てたい子供像を設定しました。

#### キャッチフレーズ

自分大好き 友だち大好き おかべ大好き

#### キーワード

※小中一貫教育 岡部中学校区 共通学校教育目標



#### 岡部中学校区小中学校の教育を通して育てたい子供像

### 自立心・郷土愛をもち仲間と共に歩む児童・生徒

- 1 自ら考え判断し行動できる子
- 2 おもいやりにあふれ、互いに支え合って成長できる子
- 3 ふるさとに誇りを持てる子

自立

共生

郷土愛

## 2 推進方法

本地区においても、第2期藤枝市小中一貫教育推進計画に合わせ、以下の項目に沿った「Ⅲ 具体的な取組」(P6～)事業を展開していきます。

### 第2期藤枝市小中一貫教育推進計画の推進方法

#### (1) 社会的資質の向上 ～ ふれあいでつなぐ ～

コミュニティ・スクール\*3での家庭・地域・学校等の連携・協働により、子供たちの社会参加の機会を充実させ、地域の人と触れ合う体験をする中で、自己肯定感(自尊感情)を高め、社会を生き抜くたくましさ、社会の変化に適応する能力や社会性を育成します。

#### (2) 確かな学力の習得 ～ 学びをつなぐ ～

9年間を見通した系統的・継続的な学習指導や学習習慣の確立を図るとともに、コミュニティ・スクールとの連携により地域人材を活用した授業を推進し、子供の学習意欲の向上や確かな学力の習得に努めます。

#### (3) 豊かな人間性の育成 ～ 夢・希望をつなぐ ～

各中学校区で積み上げた教育活動、児童生徒間の多様な交流や、コミュニティ・スクールでの地域との交流等により、豊かな人間性や思いやりの心を育みます。

#### (4) 地域を担う人材の育成 ～ 地域でつなぐ ～

コミュニティ・スクールを通して、家庭・地域・学校等が一体となった教育環境づくりを推進し、地域に愛着と誇りを持ち地域に貢献する人材を育成します。

#### (5) 教職員の指導力向上 ～ 教えをつなぐ ～

小中一貫教育コーディネーター\*4が中心となり、小中学校等の教職員が合同研修会や合同授業研修会等の交流を行うことを通して、相互理解を深め、9年間を見通した教育を展開し、子供一人一人の学びの保障に努めます。

## 3 推進形態

コミュニティ・スクールの活動をさらに充実させ、家庭・地域・学校等が連携・協働した「地域とともにある学校づくり」の充実を目指していきます。

各学校において、小中一貫教育を推進する担当教員を「小中一貫教育コーディネーター」として位置づけ、コミュニティ・スクールディレクターと連携しながら、小中一貫教育の更なる推進を図っていきます。

### Ⅲ 具体的な取組

#### 1 取組内容

##### (1)社会的資質の向上

家庭・地域・学校の連携・協働により、子供たちの社会参加・参画の機会を充実させ、様々な人との出会いを体験する中で自己肯定感(自尊感情)を高め、社会性を育成します。

###### ① 育てたい子供像の共有化

- ・小中学校教職員だけでなく、保護者、地域住民に広く周知し、家庭・地域・学校等が一体となった教育環境づくりを推進します。

###### ② 地域防災を通して社会的責任の自覚

- ・地域防災活動に子供たちが大人と一緒に企画や準備段階から参加しながら社会の一員としてのあり方を自覚すると共に防災意識を高めます。
- ・活動を通して子供が自らの役割を考える機会ととらえ、社会の中で責任を果たす必要性を感じます。

###### ③ 社会参加・参画の機会の充実

- ・地域の大人が子供と触れ合う活動を通して、社会性を育てることに努めます。そのために地域の行事（各地区の神社祭典、岡部宿にぎわいまつり、ふるさと朝比奈いきいき祭り、朝比奈大龍勢等）に小中学生を積極的に参加・参画させ、「大人の背中を見て育つ子供、地域を担う子供」を育みます。

大人との出会いや大人が導いてくれた体験が子どもへのキャリア教育\*5になる。

**子供たちのエネルギーが地域に力を与える。**



(読み聞かせボランティア)

###### ④ 規範意識の高揚や基本的な生活習慣の定着

- ・地域で築いたルールやマナーを親や家族が手本となり子供に伝えます。〈岡部地区青少年健全育成会と連携〉

**家庭**

親が地域とかかわりを持つ機会を増やします。

**地域**

地域の子供は地域で育てる体制作りを強化します。

| 取 組 内 容          | 家 庭                                           | 地 域                              |
|------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------|
| 子育て12か条<br>カレンダー | 毎月の目標に対して、どの家庭でも子供と親が一緒に取り組みます。               | 地域全体で重点目標に取り組むため、自治会も働きかけます。     |
| メディア<br>コントロール   | 親子のふれあいの時間として親も一緒に取り組み、メディアとのかかわり方を親子で話し合います。 | 地域ぐるみで自制心を育てる機会ととらえ、自治会でも呼びかけます。 |

#### ⑤ 自己肯定感の醸成

- ・子供に寄り添い、一人一人の良さを認め、引き立てる姿勢を学校も地域も心がけ、子供の育ちをサポートします。
- ・岡部ならではの活動 O.A.P を通して、自尊感情を高めていきます。
- ・中学生が、様々なボランティア活動を通して地域の一員としての自覚を高めます。

#### ⑥ 対人関係能力(コミュニケーション能力\*6)の育成

- ・「3にも」(自分にも 相手にも みんなにもよし)を意識した主体的な行動ができる子供をめざします。
- ・学校では集団生活を通して他者を尊重し切磋琢磨しながら、お互いを高め合う力を育てます。
- ・岡部小学校、朝比奈第一小学校間の交流の機会を増やし、可能な限り多くの仲間とふれ合いながら集団の一員としての自覚や喜びを実感します。
- ・地域ぐるみであいさつの日常化に努め、日々のふれあいから生まれるコミュニケーションを大切にします。

#### ⑦ キャリア教育の推進

- ・地域の様々なスペシャリストをゲストティーチャー\*7に招き、キャリア教育を進め、郷土を愛する心を育み、地域人としての地域に貢献できる人を育てます。
- ・学校はもちろん、福祉に関しては社会福祉協議会主催の「子ども福祉講座」等で子どもたちは福祉分野で働く地域の方々に出会ったり福祉について学んだりします。



(岡中 職場体験 スーパーマーケット) (岡中 総合的な学習の時間)

## (2)確かな学力の習得

「授業で人を育てる」の理念を大切に授業を充実させ、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導により、子供の学習意欲の向上や学習習慣の確立を図り、確かな学力を育成します。

### ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・教員は、藤枝市小中一貫教育カリキュラムを活用し、教科等の系統性・連続性を踏まえながら、発達や学年の段階に応じて、基礎的・基本的な知識・技能を習得させます。

### ② 知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力の育成

- ・「自ら考え、つなげ、深める」授業を推進し、児童生徒の思考力、判断力、表現力を育成します。

### ③ 外国語教育の充実

- ・中学校英語科教員と小学校英語専科教員が連携し、小学校、3,4年「外国語活動」5,6年「外国語」、中学校「外国語」を円滑に接続できるよう努めます。

### ④ 読書指導の充実

- ・市電子書籍システム・岡部読書リーフレット等を活用することで、読書を日常化していきます。
- ・学校図書館司書を中心に、各校図書室の活用を推進していきます。
- ・郷土の民話の紙芝居、岡部の昔話や絵本の読み聞かせを行い、郷土への理解と愛着を深めます。
- ・役割分担を図り、学校で読書啓発、家庭で読書時間を確保、地域で図書館の利用促進を図る等協働して取り組みます。

### ⑤ メディアコントロールの推進

- ・情報化社会を生き抜くための教育（情報モラル教育）を推進します。
- ・学校・家庭・地域が一体となって情報モラル教育を実施します。

### ⑥ 専門的指導の推進

- ・技能教科の充実のため、小学校で一部教科担任制を実施したり、中学校専科教員（音楽等）の乗り入れ授業\*8を実施したりするなど、小学校高学年から継続して専門的指導が受けられる体制づくりを進めます。

### ⑦ 総合的な学習の時間や教科等の授業での地域資源の活用

- ・体験指導、農業指導、歴史の話等で地域の達人をゲストティーチャーとして招き、専門家による指導を通して学びの広がりや深まりを体験し、子供の主体的な学びを充実させます。

### (3) 豊かな人間性の育成

児童・生徒間の多様な交流活動や地域との交流により、豊かな人間性や思いやりの心を育みます。

#### ① 朝比奈第一小学校と岡部小学校の交流

- ・ 2つの学校の子供たちが、授業や行事での交流を通して、お互いの良さに気づいたり、仲間意識を高めたり、中学校へのスムーズな接続をしていきます。
- ・ 1,2年生の生活科、3～6年生の社会科見学等を合同で実施します。
- ・ 移動時間や移動手段を考慮しながら、朝比奈第一小学校児童が岡部小学校でティームティーチング<sup>\*9</sup>による合同授業を実施するなど互いに学び合う機会を増やします。
- ・ 学校紹介、作品紹介等、文化交流を積極的に推進します。

#### ② 異年齢交流活動の充実

##### ア 小学生と中学生の異学年交流

小学生は中学生へのあこがれや進学への期待を抱くこと、中学生は小学生への思いやりと目標になろうとする自己有用感、自己肯定感を育み育てます。

- ・ 小学6年生が中学校の合唱を鑑賞し、成長へのあこがれを抱くようにします。
- ・ 12月、1月に開催する中学校公開日には、小学6年生と中学生が交流する機会を設け、中学入学への期待をもてるよう促し、その中で、3校の児童生徒が混じったグループにおいて意見交換の場を設け、縦と横のつながりを深めます。
- ・ 朝比奈第一小学校の運動会には中学生がボランティアとして参加したり、小中学生合同の「龍勢ソーラン」を披露したりします。
- ・ 中学生の児童クラブOBが夏休みに児童クラブに読み聞かせボランティア等をするために訪れます。



(中学生、地域の方とみんなで作り上げた朝比奈第一小 運動会 )

## イ 三世代交流

- ・朝比奈地区の「ふるさと朝比奈いきいき祭り」や自治会との合同運動会は三世代が触れ合う場として定着しています。
- ・両小学校4年生が毎年、地域のお年寄りとの交流の機会を設け、一緒にゲームをしたり、昔の話を聞いたりして楽しいひとときを過ごしています。



(岡小 地域のお年寄りとの交流)



(朝一 ふれあいサロンでの交流)



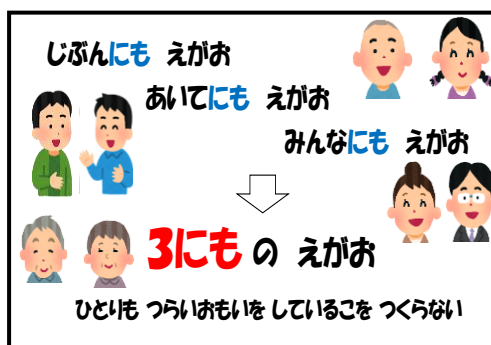
(岡中 亀寿の郷を訪問しての合唱披露)



## ② 連続性のある生徒指導

3校で共通した生徒指導体制を構築し、家庭との連携を深め、継続した指導で、3校共通学校教育目標「自立・共生・郷土愛」に向かって子供たちを育みます。

- ・「3にも」(自分にも 相手にも みんなにもよし)を3校の共通の合い言葉として児童会、生徒会活動を行い、共感的な人間関係の育成、安全・安心な風土を醸成します。
- ・学校と家庭・地域が連携、協働し9年間を通した指導を行います。



(3校共通の合い言葉 「3にも」)



(朝のあいさつボランティア)

#### (4) 地域を担う人材の育成

家庭・地域・学校等が一体となった教育環境づくりを推進し、地域に自信と誇りを持ち地域に貢献する人材を育成します。また、子供たちの成長が地域を元気にします。

##### ① 地域の一員としての自覚の醸成

ア 地域の人々とのふれあいを通して、郷土愛を育成します。

- ・岡小応援団（保護者、地域住人等）を地域全体へ広げます。
- ・中学校吹奏楽部は岡部吹奏楽団との合同練習に参加したり、楽団員から指導を受けたりする等交流を深めます。



(朝比奈地区 虫送り)

イ 地域行事を通して地域の一員としての自覚を育てます。（社会に開かれた教育課程）

- ・地域の伝統行事（神社での舞、虫送り等）地域防災への児童・生徒の参加・参画を一層促進します。

ウ 中学生が、ボランティア活動を通して地域の一員としての自覚を高めるとともに、地域の大人が手本を示し、一緒に活動します。

- ・地域防災訓練・岡部宿にぎわいまつり・ふるさと朝比奈いきいき祭り

##### ② 体験を通した郷土の歴史・文化の理解

岡部地区の歴史、文化を地域の方々から体験を通して学び、郷土への愛着を深めます。

- ・子ども会を中心として若宮八幡宮や神神社の伝統行事の継承
- ・朝比奈大龍勢へのつり傘づくりと打ち上げ時の口上の継続
- ・朝比奈和紙を使った自分の卒業証書づくりの紙漉き体験
- ・お茶の手揉み保存会による茶手もみ体験



(岡部若宮神社 浦安の舞)



(保存会による茶の手もみ体験)

### ③ 地域との交流の場の拡大

地域学習（ふるさとの歴史を学ぶ、地域を知る）を通して大人も子供も学び合いながら交流します。

- ・親子での図書館の利用
- ・柏屋（地域の伝統的な行事、文化の伝承の機会提供）の活用
- ・地域人材等を活用した講師の派遣（先輩に学ぶ）
- ・竹あかり展への出品



（岡小 職員による地域探訪）



（岡小 明治トンネル講話）



（岡中 竹あかり展への出品）



（朝一小 竹あかり展への出品）



（竹あかり展の準備）

## (5) 教職員の指導力向上

岡部3校合同研修会を通し小中学校教職員が相互理解を深め、9年間を見通した教育を展開し、児童生徒一人一人の資質・能力を育成します。

### ① 教職員の交流

- ・音楽、家庭科、外国語等の中学校教員が小学校の授業に入り、乗り入れ授業を実践し、専門的な授業を展開します。

### ② 小中合同研修会の充実

- ・藤枝市教育振興計画に記された『大切にしたい5つの考え方』を共通の視点として授業改善を進めます。
- ・3校合同研修テーマを掲げ、9年間を見通した上で研修を進めます。
- ・外部講師（特別支援、人権、道德等）を招いて教職員一人一人の力量を高めます。

### ③ 3校共通生徒指導体制

- ・12か条カレンダーの月別目標やメディアコントロールの定着を目指し、家庭、地域、学校が協働して子供の安心した生活づくりに努めます。
- ・生徒指導、学習指導については3校の担当が協議し、めざす子供像に向かった取組をしていきます。

### ④ 「育てたい子ども像」に向けた共通理解の促進

- ・P D C Aサイクル<sup>\*10</sup>に基づき、子供たちの育ちを小中学校で確認する場として教育連携推進事業実行委員会を開催し、発達段階に応じた系統性のある指導を具体化していきます。



(岡部3校合同研修会)

## IV 計画年次

### 1 計画の期間

本計画は、令和 7 年度を初年度とし、令和 11 年度を目標年度とする 5 年計画とします。

ただし、社会情勢の変化や国・県の施策と連動するため、基本的には 5 年後に見直しをしていきますが、上位計画である「第 2 期藤枝市小中一貫教育推進計画」と連動する中で、必要が生じた場合には随時改訂していきます。

## V 資料

### 1 学校運営協議会委員

令和 6 年度岡部中学校区学校運営協議会委員名簿（敬称略）

| 番号 | 氏 名    | 所属団体等                |
|----|--------|----------------------|
| 1  | 阿部 道治  | 岡部小 P 会長             |
| 2  | 福室 啓太  | 朝一小 P 会長             |
| 3  | 竹内 芳徳  | 岡部中 P 会長             |
| 4  | 朝比奈 利幸 | 第五自治会長               |
| 5  | 大畑 孝広  | 第三自治会長               |
| 6  | 大社 幸子  | CS ディレクター            |
| 7  | 村越 金敬  | 学校サポーターズクラブ コーディネーター |
| 8  | 永田 裕希子 | 学校サポーターズクラブ コーディネーター |
| 9  | 岸本 史弘  | 岡部支所長                |
| 10 | 澤田 紀子  | 主任児童委員               |
| 11 | 白鷺 朱美  | 岡部地区保育園代表            |
| 12 | 長嶋 利晃  | 地域代表                 |
| 13 | 松井 裕之  | 岡部小学校長               |
| 14 | 村松 一伸  | 朝比奈第一小学校長            |
| 15 | 澤入 章   | 岡部中学校長               |
| 16 | 森田 香織  | 教頭代表（岡部小学校）          |

## 2 用語解説

### アルファベット

#### PDCAサイクル【P13 \*10】

典型的なマネジメントサイクルの1つで、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のプロセスを順に実施する。

教育施策においては、目標を明確に設定し（Plan）、実施し（Do）、その成果を客観的に検証し（Check）、その結果を改善して次の教育施策に反映させる（Act）という循環サイクルのこと。

### あ 行

#### 岡部中学校区教育連携推進事業【P2 \*1】

児童生徒の確かな成長のため、地域での9年間を意識し、同一中学校区の小中学校が連携して取り組む藤枝市独自の事業。子供たちが夢を持ち、教員にとっても教育研究となることを目的としている。

### か 行

#### キャリア教育【P6 \*5】

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

#### ゲストティーチャー【P7 \*7】

子供の視野の拡大や専門性に触れる機会づくりのために、総合的な学習の時間や道德等で指導者として、特別に学校に招き、指導をする人。各種の職業人やボランティア活動に取り組む人、様々な趣味を持つ人など、その道の専門家が多い。

#### コミュニケーション能力【P7 \*6】

国際社会を生き抜く異文化コミュニケーション能力、世代間コミュニケーションの問題を克服する能力、楽しい学校生活を送るための人間関係を形成していく能力など、これからの時代を生きる子供たちにとっての基礎的な能力。

#### コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）【P5 \*3】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、各教育委員会が地域住民、保護者などにより構成される「学校運営協議会」を設置し、学校運営や学校の課題に対して、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、協議し、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みのこと。

## さ 行

### 小中一貫教育コーディネーター【P5 \*4】

小中一貫教育を推進するために、各校教務主任（主幹教諭）がコーディネーターに任命され、各中学校区の調整役、推進役を担う。

## た 行

### ティームティーチング【P9 \*9】

複数の教員が、役割分担と相互協力のもとに指導計画を立てて、指導を行う方法のこと。児童生徒の学習速度や習熟度などに合わせて、きめ細かな指導や多様な学習形態が可能となる。

## な 行

### 乗り入れ授業【P8 \*8】

中学校教員が小学校で教科担任をしたり、ティームティーチングで指導を行ったり、小学校教員が中学校で授業を行うこと。

## ま 行

### メディアコントロール【P2 \*2】

「ノーメディアデー」がメディア使用を禁止する意味合いが強いのに対して、「メディアコントロール」は、児童生徒が主体的にメディアとのつきあい方を考え、判断していく態度を意味する。これにより、読書の時間が生まれたり、家族との触れ合いの時間が生まれたりすることを目指す。





(ボランティアさんに感謝する会)

第2期岡部中学校区小中一貫教育推進計画

令和7年3月

岡部中学校区学校運営協議会

藤枝市教育委員会 教育政策課